

インクルーシブな学びの場を 考えるセミナー 2026

【今回のテーマ】

子どもも大人もゆるくつながる、
ほっとできる対話の場づくり

【対象】

学校関係者（教員・保護者・子ども本人）、
関係機関職員（福祉、行政、NPO等）、
市民、大学生・大学院生等

【日時】 2026年9月12日（土）10:00~15:00

【会場】 弘前大学教育学部2階大教室・Zoom 会議室

入場無料（事前申込制）

申込方法：右のQRコードから、
事前申込をお願いします。



詳細は裏面をご覧ください。

お問い合わせ

NITS 弘前大学センター事務局 古川

TEL : 0172-39-3333

E-Mail : nits-hirosaki@hirosaki-u.ac.jp

主催：NITS 弘前大学センター 後援：青森県教育委員会 ・ 弘前市教育委員会

リラックスしたカジュアルな対話のため、 できるだけ会場にいらしてください！

講演部分を中心に Zoom でもご参加いただけます。

託児等の対応はありませんが、小さなお子様連れのご参加も歓迎します。

当日のプログラム

10:10～11:00 講義・p4c のモデル提示

「安心・安全なコミュニティづくり-p4c（子どもの哲学）の視点を踏まえてー」

【講師】弘前市立千年小学校 校長 村元 治 氏



前弘前大学教職大学院准教授。これまで学校現場や教育行政に携わり、現在は校長としてインクルーシブな学校経営に取り組んでおられます。専門はインクルーシブな視点を踏まえた学級経営や子ども理解、学級経営のポイントや p4c（子どもの哲学）について概説し、グループ演習をとおして、参加者の皆様に p4c の意義・効果を体感していただきます。

11:00～11:50 アイスブレイク・p4c のグループ演習・リフレクション

13:00～14:15 講義・演習「安心でき、居心地のよい場所という視点から学校を捉え直す」

【講師】杉並区立済美養護学校 主任教諭 川上 康則 氏



杉並区立特別支援学校主任教諭、公認心理師、臨床発達心理士、特別支援教育士スーパーバイザー。長年にわたり障害のある子どもに対する教育実践と共に小・中学校支援に取り組んでこられました。著書は『教室マルトリートメント』（東洋館出版社）など多数。参加者の皆様との対話をとおして標題のテーマに迫っていきます。

14:15～14:55 グループリフレクション

p4c とは？

p4c とは、答え中心の学校文化から脱して「問うこと」の意義を実感することをねらいとした、哲学的対話を取り入れた教育活動です。一つの結論にまともになくても、対話して、それぞれの考えを共有することを大切にします。そのため、近年は、居場所としての学級集団を形成する方法としてもよく使われています。